

能登半島地震
徳島から
支える

◆県警が警戒活動に当たる2部隊15人を石川県に派遣 県警は21日、徳島県警のパトカーで警戒に当たる広域緊急援助隊交通部と特別自動車警ら部隊を石川県珠洲市に派遣すると発表した。

交通部は県警本部交通部の8人で編成。同日出発し、26日までのと里山海道や主要交差点で交通整理を行う。本地域域課員と徳島名西、徳島板野両署員の計7人でつくる自動車警ら部隊は、学校や避難所周辺を重点的にパトロールする。派遣期間は22日～3月4日。(岸和弘)

◆徳島河川国道事務所が支援車両管理者を派遣 国土交通省徳島河川国道事務所は21日、被災地で道路状況の調査を行う職員の出発式で管野さんが「復興に貢献し帰ってきたい」と決意を述べた。(有井優太)

◆県社会福祉協議会が志賀町に職員派遣 県社会福祉協議会は21日、石川県志賀町にこれまでボランティア推進センターの重松聡彦主事(55)、総務企画課の榊井晋之介主任主事(32)を派遣した。26日まで同町社会福祉協議会で災害ボランティアセンターの運営支援などに当たる。(木下真寿美)

◆県経営者協会が義援金 県経営者協会は、会員企業から集めた能登半島地震被災地への義援金13.3万円を日本赤十字社

ダム貯水率

長安口	61%(70%)
早明浦	61%(81%)

カッコ内は平年
(21日18時現在、四国地方整備局調べ)

PM2.5 黄砂予測

時間帯	22日
PM 2.5	黄砂

(九州大SP)

県支部に寄託した。林香与子会長が19日に徳島市庄町3の県支部を訪れ、新居啓司事務局長に手渡した。日赤本社を通じ、被災者の生活支援に充てられる。(河野大樹)



◆RCCフードサービスが義援金 業務用食品卸のRCCフードサービス(徳島市)は20日、能登半島地震被災地への義援金30万円を日本赤十字社県支部に寄託した。島野和夫社長「写真左」が徳島市庄町3の県支部を訪れ、大久保久美子事務局長に義援金を手渡した。島野社長は「一刻も早く日常を取り戻せるよう役立ててもらいたい」と話した。(河野大樹)

◆那賀町職員が義援金 那賀町は21日、能登半島地震の被災者の生活再建などに役立ててもらおうと、職員約180人から募った義援金計46万8千円を日本赤十字社とB&G財団(東京)に送金した。(夏目潤)

【紙面編集】大澤和矢